

## 環境調査 - 生活の中の化学物質が動植物に与える影響を明らかにするための調査

- 1 自治体名： 沿海地方政府（教育科学部）
- 2 発表者名： シヴィーガヴァ・マリーナ（Shvygova Marina）  
（ウスリースク市 プツィロフカ町総合学校 10年生）
- 3 活動名： 環境調査 - 生活の中の化学物質が動植物に与える影響を明らかにするための調査
- 4 活動期間： 2007年9月17日から2008年1月28日までの間
- 5 活動場所： ウスリースク市プツィロフカ町総合学校 生物室
- 6 活動人数： 1人
- 7 活動をはじめた経緯：  
使用済みの洗剤などを貯水池、土に流す事実。生活の中の化学物質が環境および人間に影響を与えていることが明らかになったこと。
- 8 発表要旨：
  - ？ 洗剤、殺虫剤などのような生活の中の化学物質は、人の健康に危険である。
  - ？ 生活の中の化学物質は、環境にも害を与える可能性がある。
  - ？ 生物が死に至る貯水池の《カビ》の発生は、洗剤等が貯水池に入ったためである。
  - ？ 生物は合成洗剤と接することにより、死滅する。
  - ？ 生活の中の化学物質が人間および環境にとって危険であることは、一般市民の中であまり知られてない。
  - ？ 生活の中の化学物質による環境汚染問題に市民の関心を集める必要がある。